

12年ぶりに平田に帰ってきます

津森神宮「平田復興お法使祭」

益城町・西原村・菊陽町の12地区を12年かけて一巡する津森神宮の祭礼「お法使祭」が益城町に帰ってきます。

神輿は今年、菊陽町辛川地区から平田地区へ受け渡され、お仮屋へ遷座されます。全国でも類を見ない大変珍しい祭礼行事です。皆さまのご観覧をお待ちしています。

■期日 **10月30日(月)**

■日程(予定)

- 午前9時 遷宮祭
- 午前11時 出発式・神幸行列
- 午後1時 辛川お休み場神事・神幸行列
- 午後2時 受け渡し場到着
- 午後3時 受け渡し場神事・神輿引き渡し・神幸行列
- 午後4時 平田お休み場神事
- 午後5時 出発式・神幸行列
- 遷座祭

■場所

- 遷宮祭・出発式 辛川地区農事集会所内
- お仮屋 辛川霊園
- 辛川お休み場神事 辛川霊園
- 受け渡し場神事 道明地内(辛川)
- 平田お休み場神事 旧JA倉庫西側畑地(平田)
- 遷座祭 西村管工資材置き場内
- お仮屋(平田)

岡生涯学習課生涯学習係 ☎286・3337
津森神宮 ☎286・2808



昨年行われたお法使祭(菊陽町)

お法使祭の由来

(津森神宮資料から)

伝説によれば、天宇受売命が猿田彦命の案内で益城町杉堂地区近くへ降臨され、それ以来、津森神宮周辺の十二地区の氏子地域を一年ごとに巡行することになったという。そのためご神体は、神殿を持たず毎年お仮屋住まいです。

一方、津森神宮の縁起(古文書)によれば、本宮が欲請創祀された欽明天皇二年(西暦五百四十一年)、国司藤原法昌は欲請建立者として毎年津森神宮大祭が滞りなく行われるために勅使(天皇の使い)を派遣し参詣していたという。この勅使の代参がすなわち「お法使(おほし)」と言われ、「魔よけの力を持った使者」「法」は当時「魔よけ」という意味を持つと言われます。お祭りとして定着したのは十三世紀半ば頃とされます。

御神幸行列は、笛太鼓の道楽や道踊りを従えて、お仮屋からお休み場を挟んで、次の地区の新しいお仮屋へと進んでいきます。

みんな楽しんで一日を過ごしましょう

益城町復興「みんなの秋祭り」

震災の影響により開催できなかった「益城町みんなの夏祭り」に代わり、益城町復興「みんなの秋祭り」を開催します。

毎年おなじみの小・中学生による演奏、仮面ライダービルドやくまモンも登場します。

さらに、テレビやラジオでもおなじみの泉谷しげるさんによるライブもあります。皆さまお誘いあわせの上、ぜひお越しください。

■期日 **10月28日(土)**

■場所

グランメッセ熊本E駐車場
■臨時駐車場

- ・役場仮設庁舎駐車場
- ・(株)関熊本製造所駐車場
- ・保健福祉センターはびねす
- ・広安西小学校

※グランメッセ熊本内の駐車場には限りがあります。臨時駐車場から路線バスの増便、シャトルバスの増便を行いますので、ご利用ください。なお、催しの内容については**変更する場合があります**。開催日が近づきましたら、改めて町ホームページや各種広告物にてお知らせします。

日程表

開会宣言	17:00 - 17:05
小学校音楽祭	17:05 - 17:50
くまモン&ふねまる	17:50 - 18:30
中学校音楽祭	18:30 - 19:15
仮面ライダービルドショー	19:15 - 19:45
MICA 復興ライブ	19:45 - 20:15
泉谷しげる 復興ライブ	20:15 - 21:00



泉谷しげるさん



仮面ライダービルドショー

岡産業振興課商工観光係 ☎286・3277
益城町商工会 ☎286・2551